



平成 26 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 ラ オ ッ ク ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 羅 怡 文  
(コード番号 8202 東証第2部)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 矢 野 輝 治  
(T E L 03-6852-8880)

## 業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

### 1. 業績予想の修正について

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 8 月 12 日に公表した平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の連結業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

単位：百万円

|                             | 連結売上高  | 連結営業利益 | 連結経常利益 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想（A）                   | 44,000 | 780    | 720    |
| 今回修正予想（B）                   | 44,000 | 1,350  | 1,350  |
| 増減額（B－A）                    | 0      | +570   | +630   |
| 増減率（％）                      | 0.0    | 73.0   | 87.5   |
| （参考）前期実績<br>（平成 25 年 12 月期） | 33,150 | △1,664 | △1,656 |

#### ○修正の理由

平成 26 年 12 月期第 3 四半期連結累計期間におきましては、「中国出店事業」における店舗閉鎖の影響がありますが、「国内店舗事業」において、訪日外国人観光客の順調な増加や新店の出店などを背景に、業績が大きく改善致しました。

その結果、全体として業績が順調に推移し、本日公表の「平成 26 年 12 月期第 3 四半期決算短信」の通り、昨年同期とは異なり連結黒字化を達成致しました。引き続き「国内店舗事業」は順調に推移することが見込まれる為、平成 26 年 8 月 12 日に公表した「平成 26 年 12 月期の連結業績予想」の修正を行うことと致しました。

\* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 特別損失の計上について

当社は、平成 26 年 12 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）において、特別損失を計上致しましたので、お知らせ致します。

### （1） 特別損失の内容

平成 26 年 5 月 23 日に「子会社店舗閉鎖に関するお知らせ」にて公表致しましたとおり、当社子会社が中国にて運営する店舗のうち 5 店舗を、5 月末をもって閉店した為、当該第 2 四半期において、店舗整理損 122 百万円及び減損損失 4 百万円を計上致しましたが、それらの店舗閉鎖に係る損失につき、当第 3 四半期において、店舗整理損 56 百万円および減損損失 12 百万円が追加発生した為、当第 3 四半期連結累計期間において店舗整理損 179 百万円および減損損失 17 百万円を特別損失として計上致しました。

また、貿易仲介事業における家電、電動アシスト自転車などの PB 商品の故障、事故の損失負担に備え、製品補償損失引当金 200 百万円を特別損失として計上致しました。

### （2） 業績への影響

本件につきましては、本日公表の「平成 26 年 12 月期第 3 四半期決算短信」に反映しております。

以 上